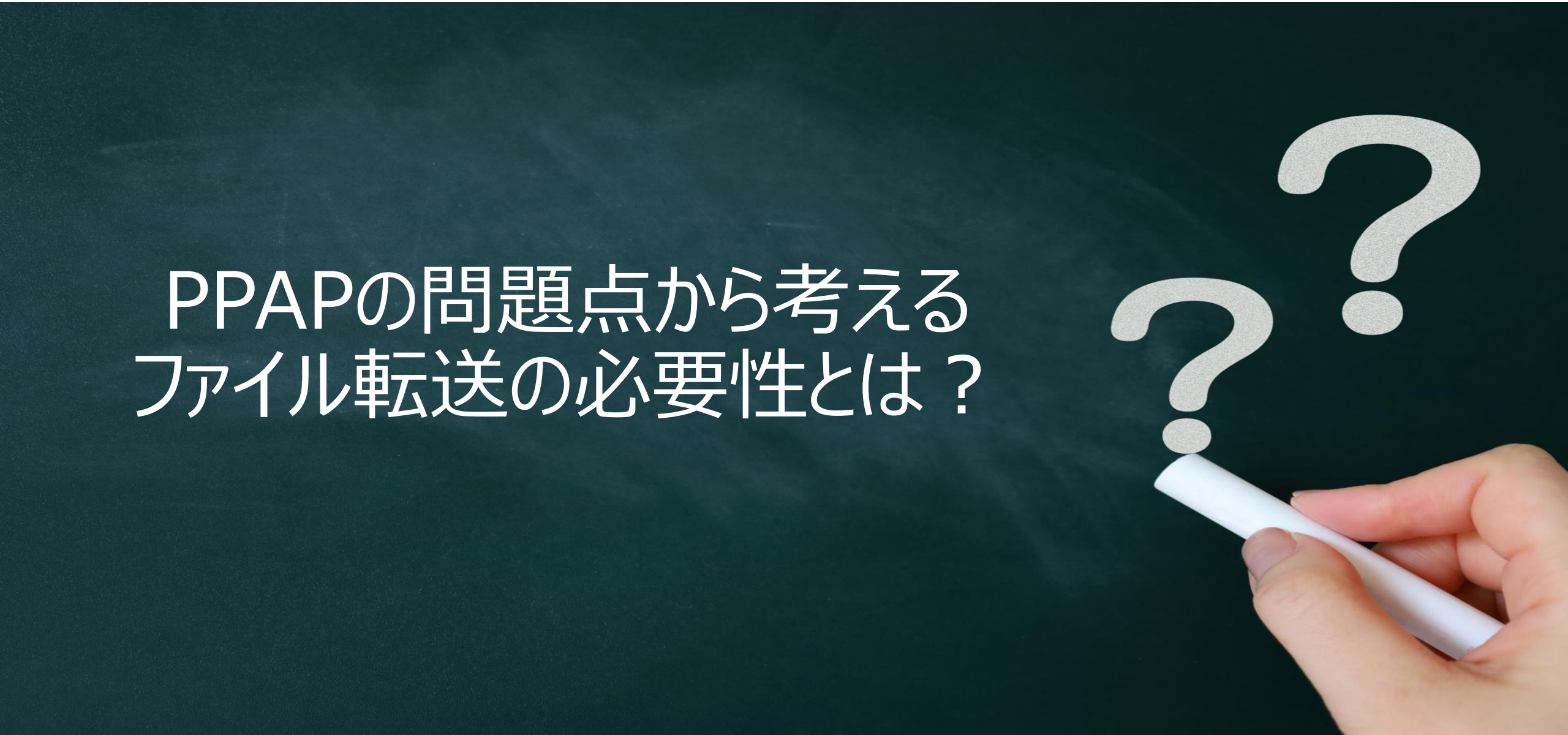
トーテックアメニティ株式会社

PPAPの問題点から考える
ファイル転送の必要性とは？



目次

第1章　PPAPの危険性
・PPAPとは？
・猛威を振るうマルウェア「EMOTET」
・「EMOTET」の特徴

第2章　EASY FILE EXPRESS　製品概要
・ファイル転送EASY FILE EXPRESSとは？
・送信手順～マニュアル不要の簡単操作～
・EASY FILE EXPRESSで脱PPAPを実現
・選べる3つのプラン

第3章　実績と導入事例
・導入実績/受賞歴
・導入事例①
・導入事例②

第1章

PPAPの危険性

PPAPの危険性

PPAPとは？

P：Passwordつきzip暗号化ファイルを送る

P：Passwordを送る

A：暗号化（暗号化）する

P：Protocol（プロトコル＝手順）

PPAPとは、メールで添付ファイルを送る際の「セキュリティしぐさ」のことです。日本では広く浸透しているPPAPですが、セキュリティ上様々な問題点が浮き彫りとなっています。昨今、正規のメールを偽装したマルウェア「Emotet（エモテット）」が猛威を振るったこともあり、2020年11月24日の定例会見にて、平井卓也 元デジタル改革担当大臣が「PPAPを内閣府と内閣官房で廃止する」方針を発表しました。PPAPでは本質的なセキュリティ対策にならず、PPAPでのやり取りを廃止・禁止する企業が増えており、脱却への動きが早まっています。ここではPPAPの問題点を3つご紹介します

PPAP　3つの問題点

同経路でのパスワード送信による盗聴

メールの送受信経路で盗聴された場合、暗号化ファイルと復号パスワードを分けて送信しても、同じ経路を使用しているとどちらも盗聴されてしまう可能性があります。

マルウェアへの感染リスクが高まる

PPAPで暗号化されたファイルは、ウイルスチェックソフトでの検閲・閲覧が不可能な場合があります。万が一マルウェアがファイル内に仕込まれていても気づかず感染してしまう可能性があります。

メール誤送信による情報漏洩

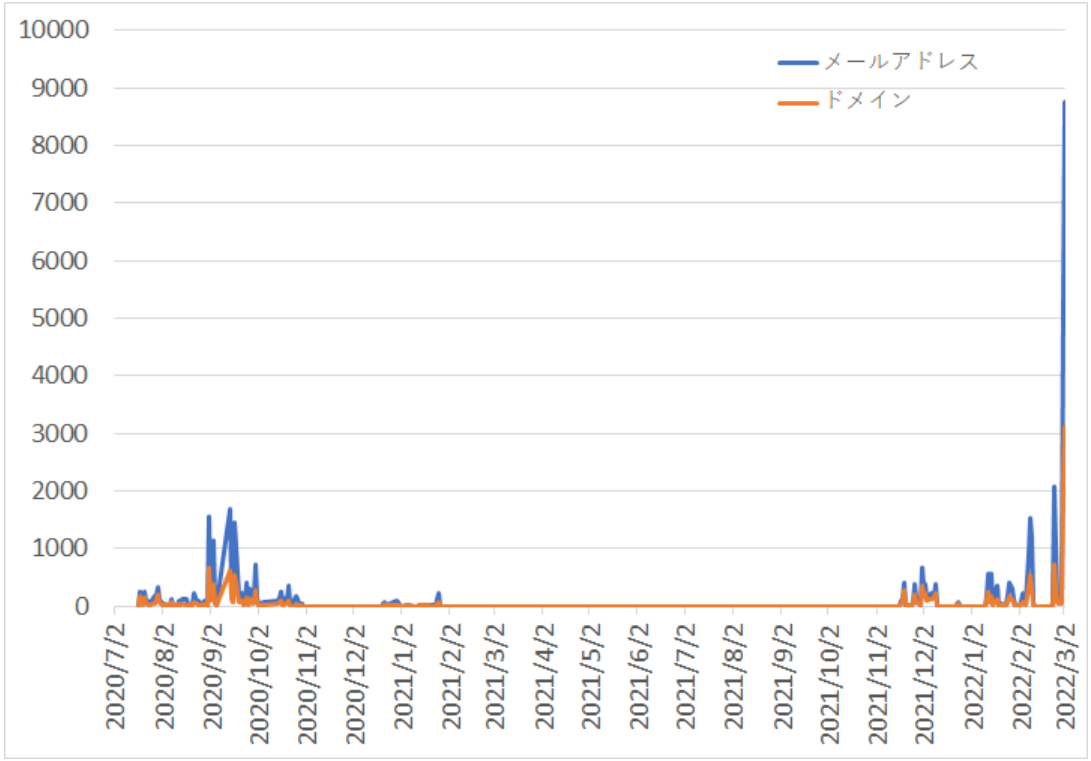
宛先を間違えて送信してしまった場合、添付したファイルの中身を第三者に見られてしまい、情報漏洩につながる可能性があります。万が一送信直後に気づいたとしても、添付ファイルを削除することはできません。

猛威を振るうマルウェア「EMOTET」

EMOTETとは、非常に高い感染力・拡散力を持つマルウェアです。
Outlookからメール情報を盗み、正規のメールへの返信を偽装するなど、巧妙な攻撃メールをばらまく他のマルウェアを媒介するマルウェアプラットフォームとして動作し、他のマルウェアが次々と侵入することで大きな被害につながります。

■経緯

2014年頃	オンラインバンキングを狙うトロイの木馬として拡散。
2017年後半	感染能力を強化。 他の犯罪組織のマルウェアを拡散させる攻撃プラットフォームへ進化。 銀行のセキュリティ対策が進んだことで,ビジネスモデルが変化。
2019年10月頃	日本国内での感染が急増。 進化しながら攻撃の沈静化と再燃を繰り返す。
2021年1月27日	「Operation LadyBird」によってEMOTETインフラをテイクダウン。
2021年11月後半	活動が再開。2022年2月から感染急拡大中。



出典：JPCERT/CC マルウェアEmotetの感染再拡大に関する注意喚起
https://www.jpcert.or.jp/at/2022/at220006.html

「EMOTET」の特徴

下記は、PPAPの脆弱性を利用したEMOTETの攻撃手法の一例です。
早急な対策が必要となります。

ポイント１ ：巧妙な偽装メール

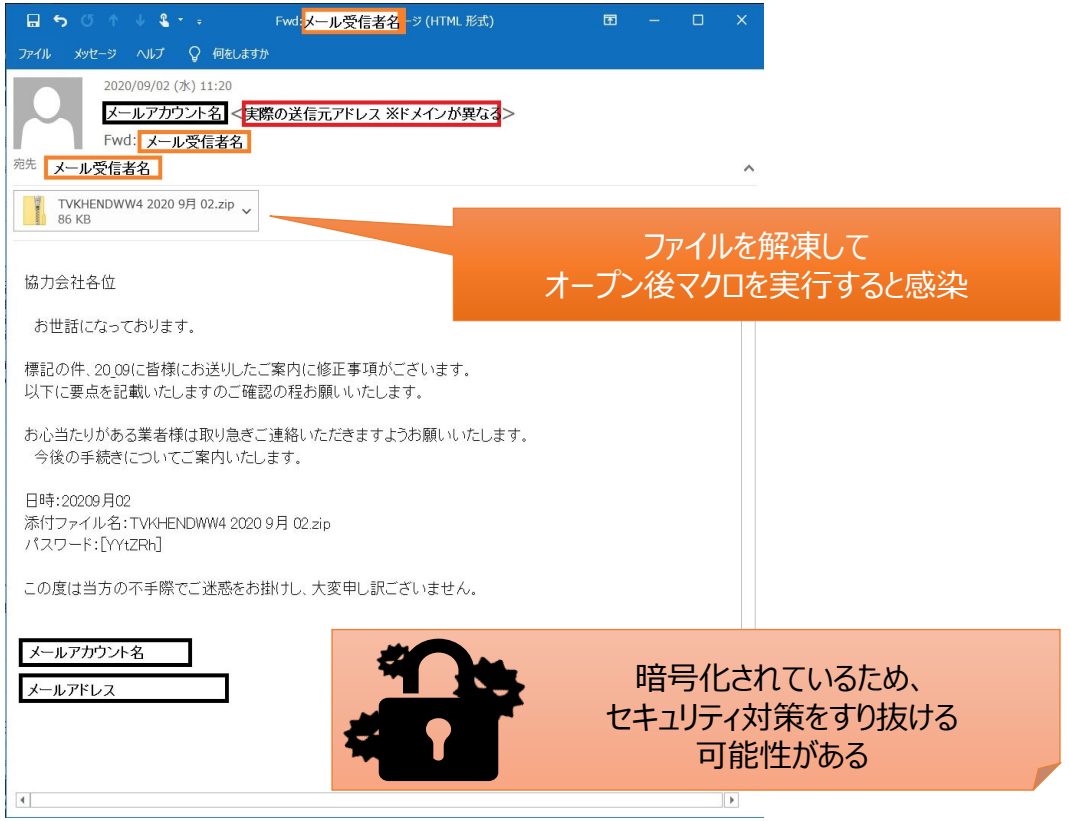
実在する会社や組織、部署、人物、ブランドの名称を
悪用して、メールを受け取る側の警戒心を緩ませる

ポイント２ ：メールが乗っ取られる

感染すると、メールのアカウント情報と、
メール本文/アドレス帳を窃取
正規の返信を偽装した攻撃メールを送信する。

ポイント３ ：進化する感染手段

Wordファイルの「コンテンツの有効化」を実行することで感染。
対策が進むと、**暗号化ZIPファイルで送るなど進化。**



出典：JPCERT/CCマルウエアEmotetへの対応FAQ
https://blogs.jpcert.or.jp/ja/2019/12/emotetfaq.html

トーテックアメニティ株式会社

第2章

ファイル転送
EASY FILE EXPRESS　製品概要

EASY FILE EXPRESS　製品概要

1 大容量ファイルの送受信ができる

- 数GBクラスの大容量ファイルを
  1度に5ファイルまでまとめて送受信できる

2 誰にとっても使いやすい操作性

- 導入後の社内教育やマニュアルは不要
  シンプルな操作画面で誰でも簡単に利用できる

3 低コストで導入できる

- 初期費用なし、月額3,000円から導入できる
- ご要件に応じて様々なプランをご用意

4 万全のセキュリティ

- 通信経路暗号化
- 操作ログは期間無制限で保存
- 定期的な脆弱性診断の実施
- 日本国内のデータセンターを利用

5 安心のサポート

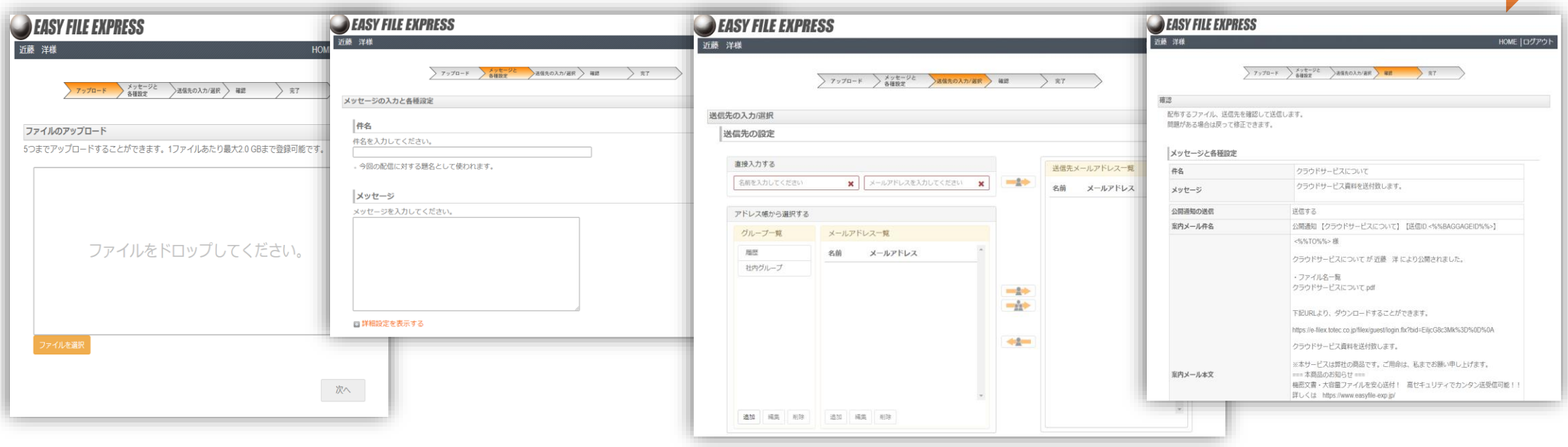
- 開発部門が直接かつスピーディに対応
- 追加機能開発および改修を常に実施

シンプルな操作性と高いセキュリティで脱PPAPを実現します

送信手順～マニュアル不要の簡単操作～

EASY FILE EXPRESSは、普段のメール送信のような操作が可能です。
直感的にわかるユーザーインターフェースで「データのアップロード」「メッセージの作成」「送信先の入力・選択」の最短 3 STEPで送信が可能です。加えて、上部にウィザード形式で今どのような作業をしているのか見えるため、教育や研修の手間もかからず、すぐにご利用可能です。また、即送信ではなく、最後に確認画面が出るため誤送信の防止にも役立ちます。

アップロードして　メッセージを書いて　送信先を選んで　送るだけ！



EASY FILE EXPRESSで脱PPAPを実現

第1章にて「PPAP 3つの問題点」を紹介しました
ここではEASY FILE EXPRESSを導入することで、どのようにPPAPの問題点を解決できるのか説明します。

PPAP 3つの問題点

同一経路でのPW送信による盗聴

マルウェアへの感染リスクが高まる

メール誤送信による情報漏洩

EASY FILE EXPRESSで解決！

別経路でのPW送信

ダウンロードキーワードメールの送信先設定
URL記載メールのみシステムで送信し、パスワードメールは別経路で送信が可能です。

通信経路暗号化

暗号付zipファイルを使用することなく安心、
安全なファイルの受け渡しが可能です。

送信キャンセル機能

間違った相手・間違ったファイルを送付しても、
送信者によって送信毎にキャンセルが可能です。
※受信者がダウンロードする前に限る。

選べる3つのプラン

スピーディ・低コストで導入、
手軽に使いたいなら・・・

小規模利用向けクラウド

EASY FILE EXPRESS Cloud 1

●Cloud1(共有タイプ)　小規模～中規模向け

・送信ご利用者(ID)数/一時利用ディスクサイズ別料金体系
・ファイルサイズ500MB(サイズ制限/拡張可能)。同時に５ファイルまで送信可能。
<プランの特徴>
・5人/¥3,000から使える導入しやすい料金設定
・特定部署での利用や全社導入に向けたスモールスタートなどに最適

送信ファイル容量無制限！
使用ユーザーや頻度が多いなら・・・

大規模利用向けクラウド

EASY FILE EXPRESS Cloud2

●Cloud2(専有タイプ)　中規模～大規模、個別カスタマイズ利用向け

・専有ディスクサイズ別料金。利用者(ID)数無制限。
・ファイルサイズ無制限(サイズ制限可能)。同時に５ファイルまで送信可能。
<プランの特徴>
・利用者数、ファイルサイズを気にせず利用可能
・グループ企業を含む大規模でのご利用可能

自社サーバーに導入して
カスタマイズしたいなら・・・

自社運用向けパッケージ

EASY FILE EXPRESS

●パッケージ（オンプレミス）　お客様環境(自社、契約先DC等)にて利用可能

・送信ご利用者(ID)数別製品
・ファイルサイズ無制限(サイズ制限可能)。同時に５ファイルまで送信可能。
<プランの特徴>
・長期利用による圧倒的なコストパフォーマンス。初年度以降は年間保守費用のみ。
※専用のサーバ環境が必要

第3章

導入事例・実績

導入実績

導入企業・団体

シマダヤ　CRECON　& and factory

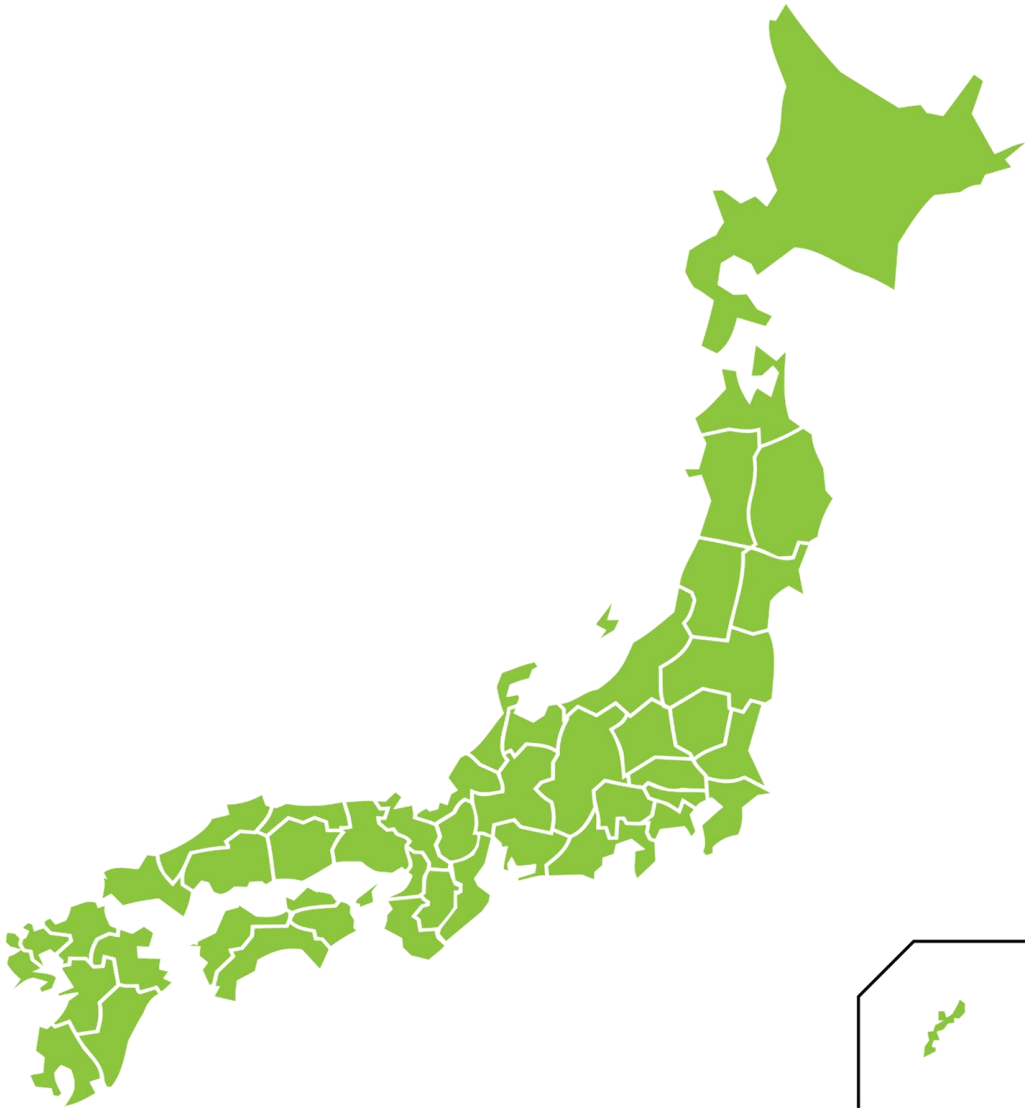
和歌山県 Wakayama Prefecture　elga OSAKA

その他業種・業界

製造　放送・マスコミ　金融　広告

食品　コンサル　医療　翻訳

人材　情報通信　法律事務所　小売り



ITトレンド
IT 製品の比較・資料請求サイト

株式会社Innovation & Co.が運営する
IT製品・サービスが掲載される資料請求・比較サイト

「ファイル転送システム」部門において、
2021年、ユーザーから最もお問い合わせが多かった製品として、ランキング1位に選出。

※ランキング結果は2021年1月1日～11月30日までの期間の資料請求数をもとに集計

ITreview

アイティクラウド株式会社が運営している
国内最大級 IT製品/ SaaSのレビューサイト

ITreviewが主催する※「GRID AWARD 2023 Summer」にて、
顧客満足度の高い「High Performer」サービスとしてノミネート。

※ITreview Grid Awardについて
ITreviewで投稿されたレビューをもとに四半期に一度ユーザーに支持された製品を表彰。

導入事例① and factory株式会社 様

プラン：EASY FILE EXPRESS Cloud2（専有タイプ）

and factory株式会社

IoTを用いた宿泊事業やその管理システム、現代の日常生活に欠かせないスマートフォン向けのコミックアプリや周辺産業への展開と、複数領域で事業を拡大しながら現在に至る。創業からわずか4年の2018年にマザーズ上場。

信頼性の高さと使い勝手の良さ、そして運用コスト。
そのすべてがクリアできたのは、『EASY FILE EXPRESS』だけでした。

導入のきっかけ

それまで使っていたファイル転送サービス会社で重大なセキュリティ事故が発生したんです。幸いにも、当社が被害を被ることはなかったのですが、改めて、上場企業としての内部統制強化や、情報セキュリティ対策を進めなければとの全体的な機運が高まり、より信頼できるサービス探しが始まりました。

コスト面での評価

経営層からは、『EASY FILE EXPRESS』を運用するにあたり、
そのユーザー数に制限がない点についても高く評価されました。
私たちのように、急激な事業拡大に伴って社員数が毎月増加する企業にとっては、「ユーザー数に限りがある」「ある一定数を超えると利用金額がはね上がる」といったサービスは、将来的なコスト予測の面で不安であり、かつ大きな費用負担になってしまいます。
セキュリティ確保は、私たちの事業を支える大切な保険ですが、将来を見通してコストを抑えられたことも、導入決定の大きな決め手となりました。

導入事例② 大阪電子自治体協議会 様

プラン：EASY FILE EXPRESS Cloud2（専有タイプ）

大阪電子自治体協議会

大阪府と府内全市町村が、共通の課題である「電子自治体」実現のために連携・協働しながら取り組むことを目的に設立された団体です。
同協議会の解散後は、府下自治体様向け弊社サービスとして提供しており、府下自治体様には引き続きご利用いただいております。

府内の自治体間や外部の取引先との大容量ファイルのやり取りを安全・確実・迅速に行えるようになった。

導入のきっかけ

府内の多くの自治体で、情報漏えい対策として外部記憶媒体の使用やメール添付ファイルサイズ等を制限しており、大容量ファイルの受け渡しに問題が生じていました。
大容量ファイル送受信サービスの試験利用を実施した結果、有用性が確認されたため、サービス利用を希望した自治体（府内30団体※当時）と相談し、一括して調達することとし、入札を実施しました。

導入の決め手と効果

機能面、セキュリティ面、サポート面等、様々な要求仕様を全て満たしていました。また最も低コストでした。
導入効果としては、府内の自治体間や外部の取引先との大容量ファイルのやり取りを安全・確実・迅速に行えるようになりました。
また複数の自治体で一括調達・契約することでコスト低減できました。

2015年に協議会は解散となりましたが、現在は、府下44の府市町村のうち、37府市町村でご利用頂いております。

導入事例③　クレコングループ　様

プラン：EASY FILE EXPRESS　Cloud2

クレコングループ

1955年、医薬品卸企業の調査機関として設立。医療・医薬品に特したデータベース、市場調査、コンサルティング、システム支援、教育プログラをニーズに合わせて提供し、 医薬品産業の発展に貢献しています。

脱PPAPなど、ファイル転送に関するセキュリティを強化

導入のきっかけ

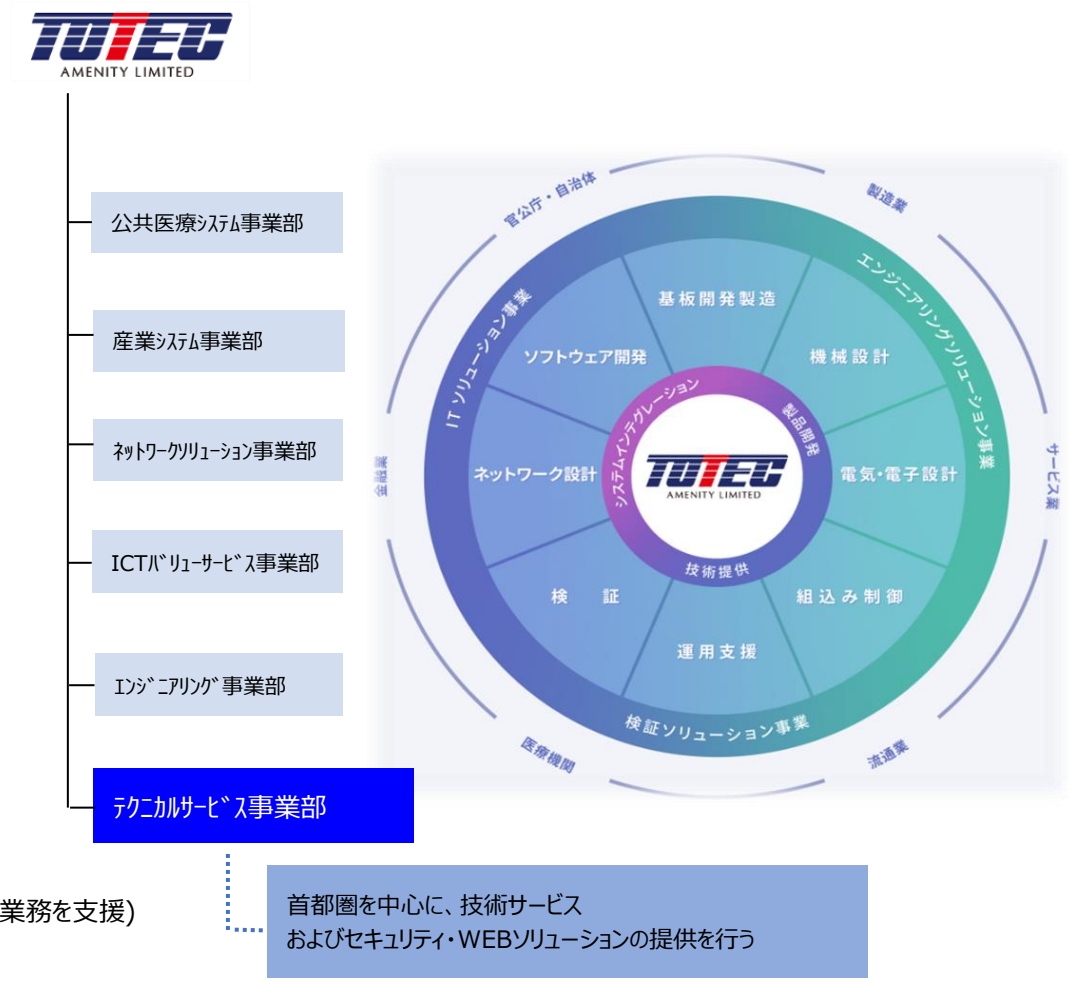
医薬品に関するデータを提供する際に、データに留まらず、その他の電子ファイルの受け渡しについてもしっかりとセキュリティを整備しておく必要がありました。
2020年に内閣府と内閣官房でPPAPを廃止するという発表があり、脱PPAPの気運が高まっていたこともあり、そのような動向も踏まえながら、当社でもセキュアなファイル転送サービスの導入を 検討することになりました。

導入の決め手と効果

主な選定のポイントは、操作性が良いこと、セキュリティがしっかりしていること、誤送信防止機能があること、ログ管理ができることです。操作性についてはEASY FILE EXPRESSが一番良い様に感じました。
直感的に理解できる操作画面で、マニュアルを読み込まなくても迷いなくサクサクと操作できました。
導入後の効果としましては、ファイル送信時に生成されるダウンロード用パスワードが自動送信されるので、送信時の手間が大幅に削減されました。また、送信済みのファイルを削除できる機能があり、社内の誤送信防止についてより徹底できるようになりました。

会社概要・組織図

会社名	トーテックアメニティ株式会社　https://www.totec.jp
設立	1971年（昭和46年）5月20日
本社	愛知県名古屋市西区名駅2-27-8
東京本社	東京都新宿区西新宿2-1-1
資本金	1億円
社員数	2,955名（単体）　3,446名（連結）（2024年7月末現在）
許認可	【建設業許可】 国土交通大臣（般-2）3260号 電気工事業、電気通信工事 【電気通信事業届出】(総務大臣)C-20-1501 【労働者派遣事業許可】(厚生労働大臣)派23-301779 【医療機器修理業許可】 (神奈川県)14BS200309/(愛知県)23BS200499 【古物商許可】(神奈川県公安委員会) 第451460009743号 【高度管理医療機器等販売業貸与業許可】 (横浜市)第111090151号/(名古屋市)第1916号
事業内容	①　ITソリューション事業 (様々な分野における情報システム構築やICT系開発を支援) ②　エンジニアリングソリューション事業 (機械設計、電気・電子設計、組み込みソフトウェア開発の分野で技術開発業務を支援) ③　検証ソリューション事業 (検証者の視点からお客様のモノづくり全般を支援)



首都圏を中心に、技術サービス
およびセキュリティ・WEBソリューションの提供を行う

トーテックアメニティ株式会社

無料体験版	2週間ご利用頂けます。お気軽にお問い合わせください。 お申込フォーム https://www.easyfile-exp.jp/trial/

お問い合わせ先	トーテックアメニティ株式会社 テクニカルサービス事業部　営業部　第3グループ TEL:03-5657-3205 E-mail:efx-info@osk.totec.co.jp